

市民の皆さんの  
自由投稿コーナー  
みんなの広場

市が推奨する草花で花壇を植栽  
八潮中学校ボランティア部

ご存じでしょうか？八潮市が推奨する草花。それは、コスモス、マリーゴールド、チューリップ、マーガレット、パンジーです。平成20年、市民の皆さんの投票で決まりました。市役所駐車場の中央にある花壇には四季折々の市が推奨する草花が植えられ、市役所を訪れる市民の皆さんに喜ばれています。

7月4日、八潮中学校ボランティア部の生徒12人で、市が推奨する草花の一つ、マリーゴールド250鉢を植えました。初めは、多少ぎこちなさもありましたが、時がたつにつれ、手際よく植えることができました。10月23日の市民まつりでは、きっと多くの市民の皆さんの目を楽しませてくれることでしょう。

さて、私たち八潮中学校のボランティア部について紹介をさせていただきます。

八潮中学校ボランティア部は、JRC（青少年赤十字）に加盟し、さまざまなボランティア活動に取り組んでいます。



毎年必ず取り組んでいることは、募金活動です。東日本大震災でも、今、自分たちにできることはないかと考えた結果、義援金の募金活動を行いました。

また、地域の方々との交流も大切にしています。昨年度は、吹奏楽部と一緒に埼玉回生病院を慰問し、手作りのしおりとカードを贈りました。

これからも自分たちにできることを考え、積極的にボランティア活動に楽しく取り組んでいきたいと思ひます。

普段の生活から心がける地球環境



8月5日、八幡公民館で、環境講座「電池から地球環境を考えよう」が行われ、小学4～6年生の8人が参加しました。

講座では、「ごみを減らす」「繰り返し使う」「資源として再生利用する」など、普段の生活から心がけることによって、地球環境を守ることができることを学びました。また、充電電池式の電池を使い「人間電池をつくろう」「えんぴつ充電電池をつくろう」など電気を作る実験を行いました。

子どもたちは、実験が成功するたびに驚きながらも喜びの表情を浮かべていました。

外国人住民と節電キャンペーン



8月19日、八潮駅北口およびフレスポイイベント広場で外国人住民参加の地域づくりの一環として、節電啓発のためのキャンペーンが行われました。

このキャンペーンは、外国人住民と市内のボランティアグループをはじめとする外国人支援団体などの協働により行われたもので、あいにくの小雨の中、約30人の参加者によりメッセージ入りのうちわ1000枚を配布して、節電を呼びかけました。

小学生が図書館司書の仕事を体験



8月24日、八幡・八條図書館で、八潮市制施行40周年記念事業「図書館探検隊」が行われ、八幡図書館は4年生4人、八條図書館は5年生3人が司書の仕事を体験しました。

職員の案内のもと図書館内を探検し、通常は入ることのできない書庫などを見学したあと、本の整理、カウンターでの貸し出し・返却作業や本のカバーかけを行いました。最後に、読み聞かせの体験が行われ、子どもたちはそれぞれの絵本を手し、一生懸命発表していました。

一通りの体験を終えた子どもたちは、一番楽しかったのは「カウンターでの貸し出し・返却作業」と話していました。

親子で学びました！ やしおの水道



8月5日、八潮市制施行40周年記念事業「やしお水道親子教室『水道の水はどこからくるの？』」が行われました。

小学生以下の子どもとその保護者37人が参加し、行田市にある水資源機構利根大堰、三郷市にある埼玉県新三郷浄水場を見学しました。

八潮市の水道水はどこで取水されて、どのように各ご家庭まで届いているのかなど、親子で楽しく学びました。

いきいきやしお写真館